



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 リスクモンスター株式会社

コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤本 太一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長代理

(氏名) 吉田 麻紀

TEL 03-6214-0331

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,349	4.2	205	48.5	209	31.8	130	37.9
28年3月期第2四半期	1,294	△3.9	138	△1.4	158	5.7	94	△1.0

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 159百万円 (66.9%) 28年3月期第2四半期 95百万円 (△21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	33.18	32.63
28年3月期第2四半期	23.62	23.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	5,136	4,151	79.7	1,038.64
28年3月期	4,907	4,030	81.1	1,008.97

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 4,095百万円 28年3月期 3,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,700	5.0	310	4.4	320	1.1	210	4.5
								53.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,028,500 株	28年3月期	4,028,500 株
29年3月期2Q	85,000 株	28年3月期	85,000 株
29年3月期2Q	3,943,500 株	28年3月期2Q	4,016,481 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
(4) 追加情報 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、輸出・生産の伸び悩みや個人消費の低迷を受け足踏み状態が続いており、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第5次中期経営計画(2016～2018年度)」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「リスモン業界レポート」提供開始(5月)
- ・格付ロジックを改定(6月)
- ・「ポートフォリオサービスWeb管理機能」提供開始(7月)
- ・フィンテックサービス第1弾「リスクモンスター共済サービス」提供開始(8月)
- ・東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部へ市場変更(9月)
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
  - 「就職したい企業・業種ランキング」調査結果(5月)
  - 「世界に誇れる日本企業」調査結果(5月)
  - 「独創性を感じる日本企業」調査結果(6月)
  - 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査結果(7月)
  - 「金持ち企業ランキング」調査結果(7月)
  - 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」調査結果(8月)
  - 「100年後も生き残ると思う日本企業」調査結果(9月)
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
  - 「非鉄金属製造業」(5月)
  - 「繊維・衣服等卸売業」(6月)
  - 「情報サービス業」(7月)
  - 「化学工業」(8月)
  - 「総合工事業」(9月)

その結果、売上高につきましては、与信管理サービス等、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)ならびに教育関連事業等を含むその他サービスが堅調に推移し、1,349,080千円(前年同期比104.2%)となりました。

利益につきましては、利益率が高いASP・クラウドサービスが順調に推移したことに加え、本社移転によるグループ機能の集約によって業務の効率化が進み固定費が削減されたこと等から、営業利益は前年同期を67,002千円上回り205,167千円(前年同期比148.5%)、経常利益は前年同期を50,493千円上回り209,055千円(前年同期比131.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を35,973千円上回り130,832千円(前年同期比137.9%)となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		前年同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高(千円)	1,294,159	100.0	1,349,080	100.0	104.2
営業利益(千円)	138,165	10.7	205,167	15.2	148.5
経常利益(千円)	158,561	12.3	209,055	15.5	131.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	94,859	7.3	130,832	9.7	137.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

① セグメント別の業績について

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

当第2四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は846,003千円(前年同期比107.9%)、セグメント利益は139,817千円(前年同期比133.7%)となりました。

ASP・クラウドサービス及びコンサルティングサービスともに順調で、与信管理サービス等全体では売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

与信管理サービス等の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同期比 (%)	
与信管理サービス等	ASP・クラウドサービス(千円)(注)2	693,489	106.4	
	コンサルティングサービス	ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス(千円)	121,804	117.7
		その他(千円)(注)3	30,709	105.5
		コンサルティングサービス売上高 合計(千円)	152,513	115.0
	与信管理サービス等売上高合計(千円)	846,003	107.9	

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約280万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

3. 「金融サービス」等を含むその他サービス

i) ASP・クラウドサービス

新規の取引先企業を分析するサービスを中心に利用が順調だったことに伴い、与信管理サービス等のASP・クラウドサービスの売上高は693,489千円(前年同期比106.4%)となりました。

与信管理サービス等の会員数の推移(累計)は、次のとおりであります。

回次	第15期	第16期	当第2四半期
決算年月	平成27年3月	平成28年3月	平成28年9月
会員数(注)	5,055	5,223	5,379

(注) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

ii) コンсалティングサービス

ポートフォリオサービスの受注単価及び件数がともに増加したことに伴い、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が121,804千円(前年同期比117.7%)と順調に推移したことに加え、金融サービス等を含むその他の売上高が30,709千円(前年同期比105.5%)となり、結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は152,513千円(前年同期比115.0%)となりました。

イ) ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)について

当第2四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の売上高の合計は277,981千円(前年同期比104.9%)、セグメント利益は96,371千円(前年同期比143.0%)となりました。

ディスク容量の利用が堅調に推移したこと等により、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同期比 (%)
ビジネスポータル サイト(グループ ウェアサービス 等)	A S P・クラウドサービス(千円)(注)2	253,909	105.3
	その他(千円)(注)3	24,071	100.6
	ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等) 売上高合計(千円)	277,981	104.9

(注)1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス
- ホスティングサービス等を含むその他サービス

また、ビジネスポータルサイトの会員数及びユーザー数の推移(累計)は次のとおりであります。

回次	第15期	第16期	当第2四半期
決算年月	平成27年3月	平成28年3月	平成28年9月
会員数(ID数)	3,191	3,098	3,051
ユーザー数	123,625	127,122	126,332

(注)インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

ウ) BPOサービスについて

当第2四半期連結累計期間のデジタルデータ化サービス等を中心としたBPOサービスの売上高の合計は169,130千円(前年同期比80.8%)、セグメント利益は4,136千円(前年同期はセグメント損失3,699千円)となりました。

前年上期に粗利率の低い大型案件が終了したことに伴い売上高は前年同期に比べ減少したものの、利益率が改善いたしました。

BPOサービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同期比 (%)
BPOサービス (注)2	デジタルデータ化等BPOサービス(千円)	169,130	80.8

(注)1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)サービス

エ) その他サービスについて

当第2四半期連結累計期間のその他の売上高は120,964千円(前年同期比118.9%)、セグメント利益は16,789千円(前年同期比769.3%)となりました。

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」の会員数が1,493会員となり、売上高、セグメント利益ともに順調に推移しました。

また、利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は626会員となりました。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同期比 (%)
その他	「教育関連事業」等を含むその他サービス(千円)	120,964	118.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 会員数について

当第2四半期連結会計期間末の会員数は、与信管理サービス等が5,379会員、ビジネスポータルサイトが3,051会員、その他会員が2,119会員、合計10,549会員となりました。会員数の推移(累計)を示すと、次のとおりであります。

回次	第13期	第14期	第15期	第16期	当第2 四半期
決算年月	平成25年 3月	平成26年 3月	平成27年 3月	平成28年 3月	平成28年 9月
与信管理サービス等(注)1	4,720	4,820	5,055	5,223	5,379
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等)(注)2	3,564	3,330	3,191	3,098	3,051
その他(注)3	563	1,615	1,847	2,084	2,119
会員数合計	8,847	9,765	10,093	10,405	10,549

(注) 1. インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員

3. 定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員

4. 会員数は当社に登録されているID数

なお、上記においては重複登録している会員が一部おります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ197,680千円増加し、2,608,469千円となりました。これは主に、現金及び預金ならびに売掛金が増加したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ30,650千円増加し、2,527,603千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ228,331千円増加し、5,136,073千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ126,553千円増加し457,756千円となりました。これは主に、未払法人税等やサービスの年間契約料の前受金が増えたことによるものです。固定負債は18,526千円減少し527,206千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ108,027千円増加し、984,963千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加や投資有価証券の時価評価等により前連結会計年度と比べ120,303千円増加し、4,151,110千円となりました。また、自己資本比率は79.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,700百万円（前年同期比105.0%）、営業利益310百万円（前年同期比104.4%）、経常利益320百万円（前年同期比101.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益210百万円（前年同期比104.5%）を予定しております。

業績予想に対する当第2四半期連結累計期間の進捗につきましては、売上高は当初の予定どおりであります。

利益率が高いASP・クラウドサービスが順調に推移したことに加え、本社移転によるグループ機能の集約によって業務の効率化が進み固定費が削減されたこと等から、利益につきましては当初の予定を上回りました。

なお、現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 (四半期) 純利益
平成29年3月期予想	2,700	310	320	210
平成29年3月期第2四半期実績	1,349	205	209	130
進捗率 (%)	50.0	66.2	65.3	62.3

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,893,564	2,033,261
受取手形及び売掛金	349,923	403,761
有価証券	99,995	99,998
原材料及び貯蔵品	13,421	14,518
その他	55,342	58,054
貸倒引当金	△1,460	△1,125
流動資産合計	2,410,788	2,608,469
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	539,746	540,716
減価償却累計額	△34,961	△47,432
建物及び構築物(純額)	504,784	493,283
工具、器具及び備品	508,251	518,578
減価償却累計額	△413,630	△431,241
工具、器具及び備品(純額)	94,620	87,337
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,860
減価償却累計額	△1,620	△2,025
リース資産(純額)	3,240	2,835
建設仮勘定	—	38
有形固定資産合計	1,170,998	1,151,846
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	540,612	546,338
その他	34,873	38,393
無形固定資産合計	575,486	584,732
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	719,697	759,500
その他	30,773	31,524
貸倒引当金	△2	—
投資その他の資産合計	750,468	791,024
固定資産合計	2,496,953	2,527,603
資産合計	4,907,741	5,136,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	176,006	192,233
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	24,676	85,165
賞与引当金	1,164	1,035
その他	69,195	119,162
流動負債合計	331,202	457,756
固定負債		
長期借入金	456,280	426,200
退職給付に係る負債	12,207	10,622
その他	77,245	90,384
固定負債合計	545,733	527,206
負債合計	876,935	984,963
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	1,267,058	1,267,058
利益剰余金	1,417,031	1,508,428
自己株式	△51,303	△51,303
株主資本合計	3,788,780	3,880,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,697	205,684
為替換算調整勘定	13,410	10,024
その他の包括利益累計額合計	190,107	215,709
新株予約権	2,647	2,647
非支配株主持分	49,270	52,574
純資産合計	4,030,806	4,151,110
負債純資産合計	4,907,741	5,136,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,294,159	1,349,080
売上原価	596,944	584,988
売上総利益	697,214	764,091
販売費及び一般管理費	559,049	558,923
営業利益	138,165	205,167
営業外収益		
受取利息	354	712
受取配当金	3,782	3,933
為替差益	—	1,062
投資事業組合運用益	18,973	416
その他	761	403
営業外収益合計	23,871	6,528
営業外費用		
支払利息	3,021	2,640
自己株式取得費用	454	—
営業外費用合計	3,475	2,640
経常利益	158,561	209,055
特別損失		
固定資産除却損	1,388	12
本社移転費用	1,669	—
特別損失合計	3,058	12
税金等調整前四半期純利益	155,503	209,042
法人税、住民税及び事業税	27,665	76,203
法人税等調整額	30,461	△2,547
法人税等合計	58,127	73,656
四半期純利益	97,376	135,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,517	4,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,859	130,832

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	97,376	135,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△372	28,807
為替換算調整勘定	△1,301	△4,454
その他の包括利益合計	△1,674	24,352
四半期包括利益	95,701	159,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,735	156,434
非支配株主に係る四半期包括利益	1,966	3,304

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	783,755	264,843	185,418	1,234,017	60,142	1,294,159	—	1,294,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	301	202	23,778	24,281	41,575	65,856	△65,856	—
計	784,056	265,045	209,197	1,258,299	101,717	1,360,016	△65,856	1,294,159
セグメント利益又は 損失(△)	104,590	67,375	△3,699	168,266	2,182	170,448	△32,282	138,165

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	845,670	277,685	147,572	1,270,929	78,150	1,349,080	—	1,349,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	295	21,557	22,185	42,813	64,998	△64,998	—
計	846,003	277,981	169,130	1,293,114	120,964	1,414,078	△64,998	1,349,080
セグメント利益	139,817	96,371	4,136	240,325	16,789	257,114	△51,946	205,167

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	109,558	334,299
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△201,828	△121,876
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△129,747	△69,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△845	△3,061
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△222,862	139,636
現金及び現金同等物の期首残高	2,045,092	1,892,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,822,229	2,032,180

前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
主要な費目及び金額は次のとおりであります。		主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
※1	税金等調整前四半期純利益 155,503	※1	税金等調整前四半期純利益 209,042
	減価償却費 137,968		減価償却費 143,639
	売上債権の増加額 △44,978		売上債権の増加額 △53,857
	法人税等の支払額 △69,120		法人税等の支払額 △25,822
※2	有形固定資産の取得による支出 △164,986	※2	有形固定資産の取得による支出 △12,342
	無形固定資産の取得による支出 △126,484		無形固定資産の取得による支出 △111,062
	敷金の回収による収入 99,022		投資有価証券の取得による支出 △24,590
※3	配当金の支払額 △36,684	※3	配当金の支払額 △39,250
	自己株式の取得による支出 △55,582		長期借入金の返済による支出 △30,080
	長期借入金の返済による支出 △30,080		